

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町で体験する健康食育事業
事業主体 (連絡先)	大町市 (市民課中央保健センター 電話: 0261-23-4400)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	785,861円 (うち支援金: 590,000円)

事業内容

- 健康メニューのスタンプラリー (10~11月)
 - 健康に配慮したメニューを提供する飲食店の拡大
 - 地域住民への健康メニュー周知・PR
 - 飲食体験を通して1食の野菜量と減塩方法を知る機会を提供 (参加店舗数: 12、延べ提供数: 約1,500食)
 - 家庭での野菜摂取と減塩を促す体験品の贈呈 (抽選)
- ライフステージに応じた栄養啓発 (8月~)
フードモデルを活用した展示啓発 (10, 11月に重点実施)
 - 乳幼児期~: 保健センター
 - 成人期~: 市役所、図書館、公民館、市民文化祭、スタンプラリー参加店舗 (一部)
 - 高齢期~: 公民館、社会福祉協議会

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- アンケートから、「健康に配慮したメニューは家でのメニューの参考になりました」「これを機に野菜を増やす」等の感想が寄せられた。啓発展示ではチラシを手にする方も多く、健康メニューの提供や展示啓発が日頃の食生活を振り返る機会となった。
- 今後も健康に配慮したメニューを提供する飲食店を利用したいと思う人は82.6%。
- 信州食育発信3つの星レストラン登録店が1店舗増。「今までは健康面を考えていなかったが勉強になった」など、店舗側の健康と食への関心も高まった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

スタンプラリーに協力いただいた店舗は食育健康応援店として登録し、市の食育推進や健康増進に係る連携体制を構築していく。また、今回は若い年代の利用が延びなかった。疾病予防のためには早期からの健康意識向上を図る必要があることから、あらゆる機会を通じて健康意識を高める施策を展開するとともに、食生活改善推進員などの地域で活動するボランティアと協働していくことで、個人の健康意識向上と地域環境整備を図りたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【スタンプラリーPR】

【目標・ねらい】

- 健康意識の向上
- 健康メニュー提供店舗の認知度と利用に対する意欲向上
- 健康メニュー提供店舗数増加

※自己評価【 B 】

【理由】

- 健康メニュー提供数が当初目標の約3倍となった。
- 参加店舗数が当初目標より減。
- 幅広い世代に参加いただいたが、若い年代の利用が延びなかった。